科目名称	基礎看護技術Ⅲ（治療を支える看護技術）	学年学期	単位数	時間数
		1 学年　後期	2	45
担当教員	森　景子　　岩本　あずさ	授業に関わる実務経験	■　有　（　看護師　） □　無	

【1】 授業概要

検査・治療は医師の指示のもとに実施される。その検査・治療を受ける患者は状態が急に変化し、生命にかかわるリスクがある。そのため、演習を通して、患者にとって安全な基礎技術の習得を目指す。さらに患者が安全に検査・治療を受けるために看護師に求められる役割を考える。

【2】 学習目標

1. 検査・治療における看護師の役割を説明することができる。
2. 安全な検査・治療における看護技術を実施することができる。
3. 対象者の身体侵襲に配慮した援助を考え、検査・治療における看護技術を実施することができる。

【3】 第 1 看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■　1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■　2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
□　3. 地域の特性を看護に生かす力
■　4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■　5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	治療を支える技術とは　創傷ケアとは①	講義
2	創傷ケアとは②	講義
3	包帯法	演習
4	呼吸を整える技術とは	講義
5	酸素投与と吸入	演習
6	口腔内・鼻腔内吸引	演習
7	検査における技術とは	講義
8	生体検査時の看護	講義
9	検体検査時の看護	講義
10	無菌操作	演習
11	導尿	演習
12	血液検査	講義
13	簡易血糖測定	演習
14	静脈血採血	演習
15	与薬時の看護	講義
16	薬剤の管理	講義
17	経口薬と非経口薬の取り扱い	演習
18	注射薬の準備	演習
19	注射の実施	演習
20	点滴静脈内注射と管理	演習
21	輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い	演習
22	輸血時の看護	講義
23	試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験（80 点）、演習の取り組み(15 点)、提出物（5 点）で総合的に評価する

【6】 教科書

1. 茂野香おる：系統看護学講座　専門分野　基礎看護学2　基礎看護技術Ⅰ（第 19 版）　医学書院　2026（電子版）
2. 任和子：系統看護学講座　専門分野　基礎看護学3　基礎看護技術Ⅱ（第 19 版）　医学書院　2026（電子版）
3. 藤野章子：看護技術ベーシックス（第 2 版）　サイオ出版　2017

【7】 参考書

1. 竹尾惠子監修　看護技術プラクティス（第 4 版）　学研メディカル　　ほか随時紹介

【8】 受講生へのメッセージ

診療に伴う意看護技術について学習します。モデル人形を用いながら安全な技術の習得を目指し、検査・治療における看護師の役割について学びましょう。